

2020年（令和2年）を振り返って

1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大

- (1) 市内小中学校の臨時休業、保育園等の登園自粛、市有施設の休館措置等
- (2) 上田城千本桜まつりをはじめとする、各種イベント・行事の中止
- (3) 国の「緊急事態宣言」発令を受け、新型コロナウイルス感染症上田市対策本部（法定）を設置（4月7日～5月25日）
- (4) 健康推進課外局に「新型コロナウイルス感染症対策室」を新設（4月）
- (5) 市議会定例会のほか、5月（2回）及び7月に臨時会を開会し、必要な予算措置
- (6) 長野県からの委託を受け、「上田地域検査センター」を設置（5月26日）
- (7) 長野県新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベルが、上田圏域でレベル4に引き上げられ、「特別警報」発令（8月28日）
- (8) 「コロナ禍を、みんなで共に乗り越えよう！」共同宣言（10月23日）

2 令和元年東日本台風災害からの復旧・復興

- (1) 別所線千曲川橋梁及び付帯施設を市有化し、復旧工事を本格化（1月）
来年3月28日に全線復旧の見通し
- (2) 上田市復旧・復興対策本部設置（1月20日）、引き続き全庁体制で復旧に取り組む
- (3) 被災した千曲川流域12市町連携による復興花火の打ち上げ（11月3日）

3 資源循環型施設建設に向けた取組が大きく前進

- (1) 資源循環型施設建設の基本方針を策定（8月）、住民説明会を開催
- (2) 環境影響評価の実施について、資源循環型施設建設対策連絡会から同意を得る（10月）
- (3) 南部終末処理場内にし尿前処理下水道投入施設を建設する計画について、地元下之条自治会から同意を得る（11月）

4 「レイラインがつなぐ『太陽と大地の聖地』～龍と生きるまち信州上田・塩田平～」と題したストーリーが、文化庁の日本遺産に認定（6月19日）

5 第二次上田市総合計画「後期基本計画（後期まちづくり計画）案」（令和3年度～7年度）を策定し、12月市議会定例会に上程

（裏面へ）

6 市民総参加のまちづくりに向けて

- (1) 「手話言語の普及及び視聴覚障害者等の意思疎通手段等の利用促進に関する条例」(通称：うえだ手話言語・情報コミュニケーション条例) 制定(7月1日施行)

7 誰もが住みやすい環境のまちづくりに向けた道路網の整備

- (1) 主要地方道別所丸子線「柳沢バイパス」開通(3月19日)
- (2) 三才山トンネル無料化(9月1日)
- (3) 国道254号「平井バイパス」一部供用開始(9月1日)
- (4) 国道18号上田バイパス第二期工区が進捗
- (5) 五反田新屋線開通予定(12月21日)

8 産業振興、シティプロモーションの推進

- (1) 「シャトー・メルシャン 椀子ワイナリー」が、「ワールド・ベスト・ヴィンヤード2020」に日本初選出(30位)(7月)
- (2) 上田舞台のドキュメンタリー映画『一献の彼方に』が海外映画祭で高評価。また、映画『兄消える』(信州上田フィルムコミッション)が、ジャパン・フィルムコミッション主催の「JFC アワード」で優秀賞を受賞(8月7日)
- (3) 「中小企業・小規模企業振興条例」制定(4月1日施行)

9 子育て支援、健幸都市の実現に向けた取組

- (1) 健康推進課の外局に地域医療政策室を新設(4月1日)
- (2) 第2次上田市子ども・子育て支援事業計画～上田市未来っ子かがやきプラン策定(3月)

10 教育、文化・芸術、スポーツの振興

- (1) 「ウエダアカボウクジラ」全身骨格化石、浦野川で発掘調査(2月～3月)
- (2) 上田市交流文化芸術センター運営検証委員会から、交流文化芸術センターの運営について「検証結果」の答申(2月14日)
- (3) 2020 パラアルペンスキー競技大会アジアカップが菅平高原で開催(2月13日～2月16日)
- (4) 信州上田ふるさと先人館開館(6月29日)
- (5) 国の登録有形文化財に、新たに、上田聖ミカエル及諸天使教会堂、小泉家住宅店舗兼主屋の2件が登録(9月)
- (6) 上田西高等学校硬式野球部が、第143回北信越地区高等学校野球大会準優勝(10月18日)。また、同硬式野球部の高寺望夢選手が、阪神タイガースからドラフト7位指名を受け、入団決定
- (7) 第27回「全国山城サミット上田・坂城大会」(10月31日、11月1日)